

日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

1. 基本情報	
(1) 案件名	イラク共和国学校教育環境整備事業
(2) 事業地	イラク共和国ニナワ県、エルビル県
(3) 贈与契約締結日 及び事業期間	・贈与契約締結日：2021年3月1日 ・事業期間：2021年3月1日～2021年12月31日 ・延長事業期間：なし
(4) 供与限度額 及び実績（返還額）	・供与限度額：24,275,781円 ・総支出：15,253,040円（返還額：90,227,741円，利息なし）
(5) 団体名・連絡先，事 業担当者名	(ア) 団体名：認定NPO法人IVY 【法人番号：4-3990-0500-1075】 (イ) 電話：023-634-9830 (ウ) FAX：023-634-9884 (エ) E-mail：adachi@ivyjapan.org (オ) 事業担当者名：安達三千代
(6) 事業変更の有無	事業変更承認 (ア) 申請日：2021年8月11日 承認日：2021年9月7日 内容：コンポーネント①、コンポーネント②の中止 事業変更報告 (イ) 報告日：2021年4月9日 内容：①現地スタッフのPCR検査費用 ②本部スタッフ（事業担当）の変更 (ウ) 報告日：2021年6月15日 内容：ワスタラジャブ実業高校のPC教室工事の工事額変更 (エ) 報告日：2021年9月8日 内容：本部スタッフ（事業担当）の変更

(ここでページを区切ってください)

2. 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度	エルビル県の実業高校1校にPC教育環境が整備され、校長および教職員22人に対しPC研修を実施することで、1年と2年の生徒114人にPC授業がカリキュラム通りに行われた結果、84%の生徒にPCの基礎的な操作スキルが身についたことがテストの結果確認された。
(2) 事業内容	<p>【コンポーネント① 学校補修】 1-1 ニナワ県教育局、施工業者、学校長との調整 当初予定：2021年3月末までに関係機関と調整、4月から7月までバルデラ女子中学校とモサワット小学校の校舎の補修。 変更：1-2校舎の補修及び1-3完成の確認は中止した。 理由：合同調整管理センター（以下JCMC）に事業許可を申請し許可が下りるのを待っている間に、他団体によって急遽補修が行われ、2校とも補修工事が完了したことが発覚した。同団体はJCMC及び教育局の許可を得ずに、教育クラスターとの調整もなく工事を行い、補修完了後即時撤退していった。そのため、教育局と再度協議したところ、不測の事態を詫びつつ、「当該県には、(申請時には教育局が)把握できていなかった校舎の補修ニーズが高い学校があることが判明したので、対象校を変えて他校で補修を行ってほしい」との要請を受けた。しかし、当初予定の2校においてはコンポーネント①の目標が他団体によってではあるが達成されたため、対象校の変更はせずに、同コンポーネント①は中止した。</p> <p>【コンポーネント② 校舎の維持管理意識の醸成】 当初予定：教職員対象に「校舎の維持管理ワークショップ」を6月第3週から、また「子どものための参加型衛生教育研修」を3月第4週から実施。 変更：コンポーネント②の中止。 理由：対象校の変更又は中止の判断を下すまで一時保留とした後、工事を担っていない当団体がそのフォローアップにあたる活動を行うことは適当ではないため、コンポーネント②は中止した。</p> <p>【コンポーネント③ エルビル県実業学校のPC教育環境整備】 当初の予定：3月第1週から4月第2週までに建設業者との契約を終え、4月第3週から工事に入ることになっていたが、下記の理由で、全ての活動に遅れが生じた。 理由：事業計画時に見積もりを取得した建設業者が一時期不在であったことや、度重なる建設資材の価格変動を受けて、最終的な価格の交渉が難航し、工事に着工できたのが2か月半遅れの6月末となった。</p> <p>3-1 エルビル教育局・学校長、施工業者との調整 3月16日、エルビル教育局と実業高校の校長に対して、本コンポーネントの趣旨と目的を説明し、研修のスケジュールや研修内容についての確認を行った上で、エルビル教育局とワスタラジャブ実業高校校長より、PC教室補修の承認を得た。5月11日に施工業者からBOQを基にした三者見積もりを取り付け、適正な価格で期間内に工事を完了できる能力があるかを考慮の上、6月1日に業者を選定した。その後、施工業者、エルビル教育局エンジニア、弊団体スタッフの三者で現場状況を確認の上、最終的な施工内容について合意した。</p> <p>3-2 PC教室補修のための施工 上記の通り、2か月半遅れて6月30日からの工事開始となったが、</p>

以下の補修を行い、7月8日に工事を完了した。施工期間中は弊団体スタッフ及びエンジニアが現場を視察し、BOQ通りに工事が行われているか確認した。

【補修箇所】

教室のエマルジョン塗装、教室の油脂塗装、プラスチック製窓の設置、屋根（PC教室上）の補修、壁面の石膏塗り作業、ソケットの設置、扇風機の設置、エアコンの設置、換気扇の設置

3-3 業者との調整とPC、机椅子等の設置

PC業者および机、椅子の業者からの三者見積もり取得を6月第1週より行う予定だったが、工事が遅れたため、7月第1週に取得し、適正な価格を考慮の上PC21台、モニター21台、プリンター1台、プロジェクター1台、インクカートリッジ4本、USP21台、PC用机・椅子各21台を発注した。7月21日までに机、椅子の設置が完了したが、PC他周辺機器に関しては市場でPCが不足していたため、調達に時間を要し、8月15日にPC及び周辺機器の設置を完了した。PC及び周辺機器の供与に際してはエルビル教育局にPC及び周辺機器供与数・型番を記載したレターを発行し、供与後はエルビル教育局と学校で責任を持って管理するよう要請した。

3-4 工事完了の確認

7月11日に補修工事（上記3-2）完了の確認を施工業者、エルビル教育局エンジニア、弊団体エンジニアで行い、その後エルビル教育局が第三者評価を行い、5段階中5の評価を獲得した。その際に、校長も同席した。PC設置終了後の8月に、エルビル教育局と工事完了と維持管理に関する覚書（MoU）を交わす予定であったが、教育局との調整に時間がかかり、PC教室維持管理ワークショップ実施後、11月22日にMoUを交わした。

3-5 PC教室維持管理ワークショップの実施

7月第3週からワスタラジャブ実業高校の教職員を対象にワークショップの実施予定だったが、工事が遅れたため、校長と教員と調整の上、9月26日に実施した。

対象：ワスタ・ラジャブ実業高校の校長とPCを使用する全教職員25人（男性20人、女性5人）

内容：① PC教室の維持管理について、これまでの経験に基づき、課題や問題点を話し合い、ワークシートに書き出し（グループワーク）② PC教室をきれいに保つための「アクションプラン」を作成。

3-6 PC教室維持管理状況のモニタリング（月1回）

当初8月より実施予定であったが、校舎維持管理ワークショップの実施が学校側との調整上の関係で遅れたため、10月より開始した。

3-7 PC研修対象者へのアンケート実施・研修準備

申請時研修対象予定者は39人であったが、8人が離職したため、対象者は31人となった。教職員31人にPC研修参加の意思確認と、PCスキルについてのアンケートを、4月第3週から5月末までに行う予定だったが、補修工事が遅れたため、7月15日に実施した。アンケートの結果、28人が参加希望、しかし、研修参加者が家庭の事情等で6人減り、上述の通り22人となった。

なお、PC 研修のプログラムはアンケート結果を反映し、まったく PC を知らない教員も理解できる基礎も含む研修内容にした。プログラムの策定は PC 研修実績が豊富なエルビル・カソリック大学が担った。

3-8 教職員対象 PC 研修の実施

6 月第 3 週より開始予定だった PC 研修を約 5 週遅れの 7 月 26 日から開始した。当初の予定では 1 日 4 時間×7 日間コース×2 回の内、第 2 回 PC 研修を第 1 回目の 4 週間後、9 月第 2 週まで行う予定だったが、新型コロナウイルスの感染が再び広がりつつあったため、前倒しし、8 月 16 日に完了した。

第 1 回	7 月 26～8 月 3 日（29・30 日休み）
第 2 回	8 月 8～16 日（12・13 日休み）

研修内容：(1～2 回目)

- 1) 開始段階での実力の確認(講師による評価)
 - 2) 導入(PC のハードウェア、ソフトウェアの概念説明など)
 - 3) PC 起動、ウィンドウズ起動/終了、ファイルシステムの理解など
 - 4) タイピングの練習
 - 5) Word の基本1=起動、文字入力、保存
 - 6) Excel の基本1=起動、数字・文字入力、簡単な表計算、保存
 - 7) Word の基本2=フォントや記号、表・グラフの挿入、文書、レター作成
 - 8) Excel の基本2=関数の活用(IF 関数、複数条件等)
 - 9) Power Point の基本1=起動、文字、写真入力、保存
 - 10) Power Point の基本1=グラフ入力、アニメーションの活用、スライド作成
 - 11) インターネットの基本とブラウザを利用しての情報検索
- * 全体の復習と修了時の理解度確認(毎回の研修後に実施)

3-9 研修後のモニタリングとフォローアップ

予定通り 10 月より、ワスタ・ラジャブ実業高校、当団体がこれまでに支援したエルビル県内の実業高校 3 校計 4 校を対象に、月に 1 回以上、PC 授業に合わせて訪問し、モニタリングとフォローアップを行った。モニタリングでは、PC 授業がカリキュラム通り各校各クラス週 3 回 PC を使った授業が行われていることを確認し、PC の使い方において教職員から不明点等の確認のフォローアップを行った。各校各クラスの出席率平均は 90%であった。モニタリングとフォローアップの結果、各学校で以下の成果と課題を確認した。

- ワスタ・ラジャブ実業高校

課題:コンピューターのアプリケーションの不具合があった。

成果:当団体が会社に連絡し解決した。その後、適切にコンピューターは授業で活用され、コンピューター及び PC 教室は常に清潔に保たれた。

- エイロル実業高校

課題:当事業開始前は PC 教員がおらず生徒は PC を学べなかった。

成果:当団体が PC 教室を整備したことにより、教育局が PC 教員を配置し、カリキュラム通りの授業を行うことができていた。

- エルビル商業高校

	<p>課題：2021年10月から12月7日にかけて、マイクロソフトオフィスが正常に機能しなくなったため、エクセルなどを使うPC授業でPCを使用できない状況にあった。</p> <p>対応：当団体と校長が協力して、PCを設置した業者に原因説明と対処を依頼した。その結果、ソフトウェアが正常に作動し、再びPCを使用できる環境が整った。</p> <p>成果：PC教室維持管理計画に沿って、引き続きPC教室の維持管理に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夜間部職業訓練高校 <p>課題：2021年10月から12月7日にかけて、マイクロソフトオフィスが正常に機能しなくなったため、エクセルなどを使うPC授業でPCを使用できない状況にあった。</p> <p>成果：ソフトウェアの問題は当団体が業者に連絡し解決でき、PCが使えるようになった。</p> <p>3-10 PCスキルテスト（生徒対象） 10月25日、ワスタ・ラジャブ実業高校にて、114人の生徒を対象としたPCスキルテストを実施した。</p> <p>第1回目テストは11月7日に実施し、平均点は48であった。 第2回目テストは12月16日に実施し、平均点は72であった。24点の改善があった。</p>
<p>(3) 達成された成果</p>	<p>コンポーネント①、②：中止 コンポーネント③</p> <p>成果：エルビル県の実業高校1校にPC教育環境が整備され、校長および教職員22人に対しPC研修を実施することで、1～2年生114人にPC授業がカリキュラム通りに行われ、生徒にPCの基礎的な操作スキルが身についたことによって、SDGs4「質の高い教育をみんなに技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる」に貢献した。</p> <p>なお、SDGs4へ貢献できたかどうかは、生徒にPCのスキルテストを事前と事後で2回行った結果、1回目と比較して2回目の成績が向上した生徒が84%（96人）に及んだことから判断した。</p>
<p>(4) 持続発展性</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後も当該事業対象校および過去に当団体が支援したエルビル県の実業高校のモニタリングとフォローアップを行うことによって、各実業高校が校舎維持管理に資する活動の継続的な実施の重要性を再認識し、事業終了後も校長と教職員が率先してPC教室及び機材の維持管理に努める意思が育まれていく。 PC研修を教職員に実施したことによって、設置されたPCが授業や業務で適切に使用され、その良い影響は子どもたちにも伝わり、SDGs4にもあるとおり、エルビル県の実業高校において、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させていく。

3. その他	
(1) 固定資産譲渡先	エルビル県教育局 (PC21 台、モニター21 台、プリンター1 台、プロジェクター1 台、インクカートリッジ4 本、USB21 台、PC 用机・椅子各 21 台、補修した PC 教室)
(2) 特記事項	コンポーネント①②で記述の通り、教育クラスターや教育局、学校と定期的な調整を行っていたにもかかわらず、当初予定していた補修対象校が他団体によって急遽補修されてしまう不測の事態となり、補修及びそのフォローアップ活動を中止することとなった。

完了報告書記載日：2022年3月29日

団体代表者名： 代表理事 枝松直樹 (印)

【添付書類】

- ① 事業内容、事業の成果に関する写真 (様式 4-e)
- ② 日本NGO連携無償資金収支表 (様式 4-a)
- ③ 日本NGO連携無償資金使用明細書 (様式 4-b)
- ④ 人件費実績表 (様式 4-c)
- ⑤ 一般管理費等 支出集計表 (様式 4-d)
- ⑥ 外部調査報告書
- ⑦ 残余金発生理由書 (該当する場合)